

◎ 職場訪問実施！

(1) 自らの在り方や生き方、進路を考察する機会とする。(2) 課題解決能力や進路を切り拓く力を育む。(3) 勤労観・職業観を養い、社会に積極的に関わろうとする意欲、態度を育成するという目標のもと、全20時間の計画で、総合的な学習の時間の「職業調べ学習」が行われています。10月13日(木)には、標記学習活動が行われました。

生徒達は、ローソンやこども富貴堂、スポーツ用品店などの「ものを販売する仕事」、鈴木製菓など「食べ物を扱う仕事」、近文保育所や旭川実業高校、ジョイフィットなど「人に教える仕事」、モダメカドックや土屋ホームなど「ものを作ったり直したりする仕事」、にしきまち通りクリニックやグループホーム つながりなど「福祉、医療に関する仕事」、DRYどうぶつ病院など「動物に関する仕事」、陸上自衛隊旭川駐屯地や旭川中央警察署など「公共の仕事」、理美容専門学校の「美容師の仕事」といった39の訪問先から、仕事(職場)を選択し、見学や体験を行いました。

職員室では、道に迷わないだろうか? バスに乗り間違えないか? など心配の声も上がっていましたが、無事職場を訪問し、見聞を広げたようです。以下に、体験を終えた生徒達の感想を掲載します。

【附属旭川小学校】

今体験を終えて、教師という仕事はとても大変だが、すごくやりがいがある仕事だということばかりでした。この体験で、教師の立場になると、今まで以上にがんばっている姿が見られました。そして、授業を教えてくれる先生に、感謝をしなくてはならないとも思いました。

【DRYどうぶつ病院】

職場体験を終えて、獣医さんたちの動物たちへの愛情や大切さがすごく伝わってきました。ネットに「好きでなくては出来ない仕事」と書いてあったので、本当にその通りだと思います。獣医さんも「ハードだし、お金にも恵まれていない。」と言っていました。でも私は働きたいと改めた思いました。勉強が必要不可欠なので、将来のために勉強をしていきたいです。

【北星ファミリークリニック】

職業体験を終えて私が感じたことは、人のためになる仕事というのはすてきなとあらためて感じました。人の命に関わる仕事だから大変なことも多いと思うけど、その分、やりがいは大きいと思う。私は、人の役に立つために、今後の生活では、何をしたら人が喜ぶかを考えて行動していきたい。



◎小中一貫教育！

旭川市教育委員会は、旭川市学校教育基本計画の、旭川版「小中連携，一貫教育の基本的な考え方」を基に，中学校の通学区を単位とした小中連携を促進しています。教育委員会では，小中連携教育モデル校事業（神居小・神居中，旭川小・旭川中）や小中連携コーディネーターの配置，小中学校合同研修の推進（昨年と今年も夏季休業中に開催）といった事業に取り組んでいます。

あわせて，各中学校区に小中連携・一貫教育の取り組みを進めることを求めています。

北門中学校区では，昨年，授業交流週間を設け，小・中学校の先生方がお互いの授業を見合ったり，冬季休業中に合同研修会を行い，それぞれの学校の学習や生活の様子，取組について理解し合いました。今年は，来月の2週目と4週目に授業交流週間を設けること，1月予定の合同研修会で小・中における共通の課題や指導事項を確認すること，3学期の参観日に参加することを計画しました。お互いの教育活動の一層の理解と連携した指導に努めてまいります。

◎携帯電話安全教室実施

平成27年における10代のスマートフォン利用率は前年度から10ポイント以上増加し，82.0%となったそうです。10代のモバイル機器によるインターネットの利用時間は，平日で94.7分，休日で172.1分だったそうです。ソーシャルメディアでは，LINEが最も利用されており，10代で77.0%が利用，YouTubeは87.1%が利用しているとのことでした。

本校では，10月24日に，携帯の正しい知識とルールを理解し，インターネットやSNSなどの安全・安心な使い方や使用方法に関するモラルを身に付ける事を目的に，KDDIスマホ・ケータイ安全教室認定講師 佐々木章吉様を講師に迎えて，携帯安全教室を開催しました。

集会では，LINEで誤解からトラブルとなった事例，「なりすまし」によって誘拐事件に巻き込まれそうになった事例，画像を投稿したことで肖像権の侵害・名誉毀損で訴えられた事例の動画を見て，携帯電話・スマホの正しい使い方についてご講義いただきました。

裏面には，ネットパトロール等業務委託業者（ピットクルー株式会社）から北海道教育委員会を通じて送付があった資料を掲載しました。

この機会に，ご家庭でも，モバイル機器の活用を，子どもたちと話し合ってみてはいかがでしょうか。

◎第1学年親子レク

10月13日，PTA第1学年部企画の親子レクが行われました。当日は，保護者67名，生徒155名，教員10名，合計232名が参加し，運命走りレー，5色綱引きに汗を流しました。お互いの交流を深める良い機会となりました。

1学年部のみなさんには，忙しい中，企画，準備などご尽力いただき，大変ありがとうございました。



一度投稿をしてしまうと、 完全に削除することは難しい

Q. インターネット上に投稿した書き込みや画像に個人を特定できる情報などが含まれていた場合、その投稿を完全に削除することはできるのでしょうか。

削除＝「そこからは消えただけ」

A. インターネットのサービスには、個人の投稿を削除する機能がついているものもあり、この機能を利用すると、個人の投稿を削除することができます。

ところがそれは、書き込みをした場所から削除しただけであって、個人を特定できる情報はインターネット上に残っており完全な削除ができたわけではありません。

なぜ、完全な削除は難しいのか

インターネット上に投稿された書き込みや画像などは、誰もが自由に閲覧し、気に入った画像などは、自分のパソコンやスマートフォンに保存することもできます。

そのため、投稿した後、すぐに削除したとしても、掲載されていたそのわずかな時間に、誰かがその情報を保存し、すでに拡散してしまっていることも考えられますし、拡散されてもその状況を全て把握することはできません。ネットパトロールにおいて検出される不適切な書き込みの中には、本人はすでに書き込みの削除を行っていても、第三者が転載しネット上に拡散していると思われるものも少なくありません。

一度投稿してしまった情報を完全に削除することはとても難しいことを理解する必要があります。

御家庭での対応

今月の内容は、インターネットの特性の一つである「記録性」についてです。

SNSなど不特定多数と書き込みや画像をやりとりする場には、第三者が転載したものとみられる投稿が多数存在しており、たとえそれが不適切な内容であっても、すべてを削除することが難しい状況となっています。

それらの投稿を悪用しようとする人は、内容を保存し、いくつかの書き込みを照らし合わせて個人を特定しています。

お子様には、投稿したい内容をすぐにインターネット上に書き込むのではなく、「本当に投稿する必要がある内容なのかどうか一度落ち着いて考えてほしい」ということを伝えましょう。

